はじめに

こんにちは！『**ベーシックレベル世界史探究**』の講座を担当する山本です。

この講座では，「世界史探究」を学びます。すでに「**歴史総合**」を学習した皆さんは，次のステップとして「**探究**」を選択するのですが，とくに世界各地の歴史を**タテ（時間）とヨコ（地域）により広くより深く掘り下げる**のが「**世界史探究**」です。

世界史というと，世界の各地域について古代から現代までの歴史を学ぶわけですから，どうしても知識量が多く，「覚えてナンボ」と思われています。この講座の目的は，そんな世界史アレルギーを吹き飛ばすことにあります。そのための「カラクリ」が授業のところどころに仕掛けられています。映像授業では，これでもかっ！てくらいに「地図」「絵画」「スライドアニメーション」がちりばめられ，イメージしながらわかりやすく世界史を学ぶことができるでしょう。わかってくると勉強するのが楽しくなり，学習効果がどんどん高まります。知識の定着も進みます。

ぼくは予備校の講師になる前に，旅行会社のツアーコンダクターとして世界を飛び回りました。言語や文化が違うところを旅行するとき，その地の歴史を知っていると旅の喜びが何倍にも膨れあがると思いませんか。ぼくの最終目標は皆さんを世界各地に案内することですが，まずは授業で世界史の海原へ旅に出ようじゃありませんか。

受講するにあたって

①「いつ」「どこ」「なぜ」を常に気にかけてください。

世界史の内容がいまいちピンとこないなぁと感じる人は，自分が今どこにいるのかを見失っていることが多いようです。学習している内容が「いつのことなのか」「どの地域なのか」「なぜこうなったのか」ということに，少しだけ気を回してみましょう。世界史がグッとわかりやすくなりますよ。

②「世界史のセオリー」を修得しよう。

授業では，歴史の原理原則についてしつこくお伝えします。数学でいうところの定理みたいなものです。世界史のセオリーでモノゴトを俯瞰すると，地域が違ってもだいたい同じような事態が発生しています。まるで魔法にかかったかのように理解が進みますよ。

③予習と復習について

予習は必要ありません。復習は「１パートのテキスト」を見直して→「確認問題」を解いてください。解けなかったら，授業を見直してみてくださいね。知識の定着にはアウトプットが必須です。確認問題を解くほか，授業で習ったことを誰かにかみくだいて話してみてもいいでしょう。

それでは，講義でお待ちしています！

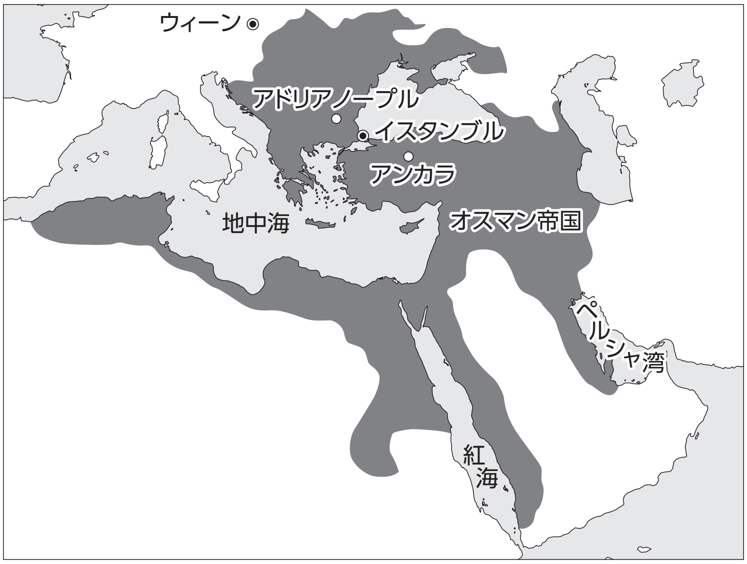
山本直人

第10講 【近世編】アジアの繁栄
PART1 オスマン帝国とサファヴィー朝

Chapter 1　オスマン帝国の発展

目標
メフメト２世の征服活動の歴史的意義を考えよう。
スレイマン１世の外征を学ぼう。

1　オスマン帝国の成立



オスマン帝国の最大領域

〔　　　　　　　　　　　　　〕(1300 年頃～ 1922 年)

① 14 世紀後半にバルカン半島のアドリアノープルに遷都

②**バヤジット１世**が，ニコポリスの戦いでハンガリー王の率いるヨーロッパ連合軍を撃退

③ 1402 年，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕で**ティムール軍**に大敗し，帝国は一時滅亡

2　オスマン帝国の拡大

①〔　　　　　　　　　　　　　　〕(征服王)

1453 年，**ビザンツ帝国**の首都**コンスタンティノープル**を陥落させ，これを滅ぼす

→コンスタンティノープルを〔　　　　　　　　　　　　　　〕に改称し，遷都

②〔　　　　　　　　　　　　〕

1517年，**マムルーク朝**を滅ぼし，メッカ・メディナを保護下に置く

3 スレイマン1世の治世

オスマン帝国は〔　　　　　　　　　　　　　　〕（在位1520年～66年）の時代に最盛期を迎える。

①ハンガリー征服

モハーチの戦いに勝利して**ハンガリー**を征服

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1529年）

ハプスブルク家が支配するウィーンを包囲攻撃

③地中海覇権

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（1538年）でスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を破った

→彼の死後，〔　　　　　　　　　　　　　　〕（1571年）で敗れたが，地中海では優勢を確保

④トルコ＝イスラーム文化の繁栄

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕などの壮大な建造物が多数つくられた

4 オスマン帝国の社会

①**ティマール制**（イクター制の発展形）

騎士に土地の徴税権（ティマール）を与える代わりに戦時に従軍させる制度を用いた

②**ミッレト**（非ムスリムの宗教自治体）において非ムスリムの自治を認めた

③**デヴシルメ制**

キリスト教徒の子弟を教育し，官僚・軍人に登用する**デヴシルメ制**を整備した

→この制度により育成した兵士で常備軍〔　　　　　　　　　　　　〕を組織した

④〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕による交易の発展

同盟を結んだフランスに通商特権を与えた

まとめ

メフメト2世がビザンツ帝国を滅ぼしたことで，1000年以上続いたローマ帝国の伝統が途絶えた。

スレイマン1世はハンガリーを征服すると，第一次ウィーン包囲でヨーロッパに脅威を与えた。

Chapter 2　ティムール朝とサファヴィー朝

目標　ティムール朝の勢力は，どこまで及んだのか理解しよう。
サファヴィー朝のアッバース１世の事績を学ぼう。

1　ティムール朝の拡大

①〔　　　　　　　　　　〕（1370年～1507年）の建国

ティムールが西チャガタイ＝ハン国から自立し，中央アジアにティムール朝を建国。首都は〔　　　　　　　　　　〕

②ティムール朝の発展

A　支配地の拡大

中央アジアからイラン・イラクまで制圧し，小アジアに侵入

→1402年，〔　　　　　　　　　　〕で**オスマン帝国軍**を撃退し，スルタンのバヤジット１世を捕虜にした

B　ティムールの死去

モンゴル帝国の再興を目指して明に遠征したが，その途上で病死

③ティムール朝の統治

ティムールの死後，ティムール朝は周辺諸国と和睦し，商工業や文化を発展させた

→第４代君主の〔　　　　　　　　　　〕はサマルカンドに天文台をつくった

④ティムール朝の滅亡

15世紀後半にティムール朝は分裂し，トルコ系遊牧民の**ウズベク人**の侵入を受け，滅亡

→ウズベク人は中央アジアに**ブハラ＝ハン国**，**ヒヴァ＝ハン国**，**コーカンド＝ハン国**を建国

2　サファヴィー朝の統治

①〔　　　　　　　　　　〕（1501年～1736年）の建国

1501年，シーア派神秘主義のサファヴィー教団の教主**イスマーイール（１世）**がイランに建国。〔　　　　　〕（イラン人の王）の称号を名乗る

→シーア派の中の〔　　　　　　　　　　〕を国教とした

※十二イマーム派はシーア派最大の派であり，現在のイランの国教である。

②アッバース１世の治世

A　領土の回復

第５代君主〔　　　　　　　　　　　　　　〕はホルムズ島からポルトガル人を追い出すなど領土を回復

→商業や文化も発展し，サファヴィー朝の最盛期を築いた

B　新都〔　　　　　　　　　　　　　　〕の建設

アッバース１世が造営。「イマームの広場」を中心に華麗な**イマームモスク**（「王のモスク」）などを建立した

→「**イスファハーンは世界の半分**」といわれるほど国際商業都市として繁栄

イスファハーンの「イマームの広場」

ティムール朝とサファヴィー朝の領域

まとめ

ティムール朝はアンカラの戦いでオスマン帝国を破ると，中央アジア，イラン，イラク，小アジアまでを支配した。

アッバース１世は新都イスファハーンを建設し，また，ポルトガルをホルムズ島から駆逐するなど，サファヴィー朝の最盛期をつくった。

第 10 講 PART 1 確認問題

1 ビザンツ帝国を滅ぼしたオスマン帝国の皇帝はだれか。

① メフメト２世 ② ユスティニアヌス帝
③ カール大帝 ④ セリム１世

2 スレイマン１世がフランスと同盟し，ハプスブルク家が支配する都市に行った攻撃を何というか。

① 第二次ポエニ戦争 ② ニコポリスの戦い
③ ニハーヴァンドの戦い ④ 第一次ウィーン包囲

3 オスマン帝国軍がスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を破った戦いはどれか。

① レパントの海戦 ② プレヴェザの海戦
③ サラミスの海戦 ④ アクティウムの海戦

4 オスマン帝国がキリスト教徒の子弟を育成して整備した常備軍を何というか。

① ミスル ② イェニチェリ
③ マムルーク ④ ジハード

5 ティムール朝の首都で，世界文化遺産の天文台がある都市はどこか。

① アドリアノープル ② コンスタンティノープル
③ サマルカンド ④ グラナダ

6 ティムールがオスマン帝国軍を破った戦いはどれか。

① マラトンの戦い　② イッソスの戦い
③ トゥール・ポワティエ間の戦い　④ アンカラの戦い

7 サファヴィー朝が国教としたシーア派の宗派はどれか。

① アタナシウス派　② スンナ派
③ ストア派　④ 十二イマーム派

8 アッバース1世が造営したサファヴィー朝の新都はどこか。

① カイロ　② イスファハーン
③ アレクサンドリア　④ バグダード

確認問題解答

第10講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①　オスマン帝国を再建し，**ビザンツ帝国を滅ぼしたのはメフメト２世**である。セリム１世が滅ぼしたのはマムルーク朝。

2 解答：④　**スレイマン１世は第一次ウィーン包囲を行い**，以後，オスマン帝国はヨーロッパ国際政治に影響力を持つようになった。ニコポリスの戦いに勝利したのはバヤジット１世。

3 解答：②　**オスマン帝国軍はプレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊に勝利**し，地中海の覇権を握った。その後のレパントの海戦では敗れたが，地中海での優勢は続いた。

4 解答：②　オスマン帝国は**キリスト教徒の子弟を教育して常備軍イェニチェリ**を組織した。

5 解答：③　**ティムール朝の首都サマルカンド**には，第４代君主ウルグ＝ベクがつくった天文台があり，世界文化遺産に登録されている。

6 解答：④　**ティムールはアンカラの戦いでオスマン帝国軍を破り**，スルタンのバヤジッド１世を捕虜にした。

7 解答：④　**サファヴィー朝が国教としたのはシーア派最大宗派の十二イマーム派**である。

8 解答：②　**アッバース１世が建てた新都イスファハーン**は「イスファハーンは世界の半分」と称されるほど繁栄した。